

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区図書館経営協議会（令和7年度第1回）
事務局（担当課）		教育部図書館課
開催日時		令和7年7月9日（水）午後6時00分～午後7時30分
開催場所		あうるすぽっと3階 会議室 B
議 題		(1) 会長挨拶 (2) 委員紹介 (3) 図書館課長挨拶 (4) 令和6年度豊島区立図書館運営評価について ①令和6年度豊島区立図書館運営状況の評価＜総括＞ ②同＜豊島区立図書館第二次基本計画の進捗状況＞ ③ 同＜利用者アンケート結果＞ (5) 令和7年度豊島区立図書館事業計画について (6) 学校連携について (7) 豊島区読書活動に関する実態調査について（報告） (8) その他
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 1 人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	稲井 達也、河本 毬馨（オンライン）、酒井 由江、 野中 由香子、春日 美乃、尾花 宏子、数藤 沙綾、 渡辺 ひかる、武井 悦子、吉田 和夫、岡田 英男、 井上 浩徳
	そ の 他	
	事 務 局	中央図書館長【図書館課長】 図書館課 管理係長、政策主査、資料係長、サービス基盤係長、 サービス運用係長、点字図書館係長、巣鴨図書館長、 千早図書館長

傍聴希望者 0名

【会長挨拶】

会長：ただ今より令和7年度第1回豊島区図書館経営協議会を開催する。

本日の会議について、まず議事について事務局から説明をし、その後に委員のみなさまからご意見を頂戴したい。本協議会も2年目となるが、今回も豊島区立図書館のよりよい運営のためにみなさまからご意見を頂戴し、区政に反映していければと思う。令和7年度より、部局の変更に伴い一部委員の変更があるため、事務局より紹介をお願いしたい。

新委員紹介、新委員挨拶

会長：令和7年度より中央図書館長が変わっている。新館長より挨拶をお願いしたい。

新中央図書館長挨拶

会長：続いて、事務局より本日の議題について説明をお願いしたい。

事務局：本日の議題について説明申し上げる。まず、令和6年度豊島区立図書館の運営評価についての報告。次に、令和7年度豊島区立図書館の事業計画についての説明。昨年度配付した開催スケジュールでは、「にぎやかな公共図書館の実現に向けて③」としてご意見をいただく予定となっていたが、図書館課が教育部に移管されたことに伴い、区立図書館と学校との連携が急務になっている。そのため、本日は予定を変更し、学校との連携についてご意見をいただきたい。最後に、令和7年9月に実施予定の「読書活動に関する実態調査」について説明する。以上となる。

【令和6年度豊島区立図書館運営評価について】

会長：まず、「令和6年度豊島区立図書館運営評価について」事務局から説明をお願いしたい。

事務局：資料4について説明

会長：令和6年度の運営評価についてご意見はあるか。

審 議 経 過

No. 2

委員：ひかり文庫について評価が A となっているが、貸出状況、利用状況はどのようになっているか、また、録音図書、点訳図書の作成基準をお尋ねしたい。

事務局：点訳する図書は司書が本を選び、職員による校正を行っている。

委員：本を選ぶ際に、視覚障害者連合などから点字化してほしい本の希望をだすことはできるか。

事務局：検討させていただく。

委員：ひかり文庫の貸出状況の内訳について教えていただきたい。

事務局：後日改めて回答させていただく。

委員：点訳してほしい本のリクエストについてお話があったが、点訳研究会では個人依頼も受け付けているので、図書館にお申し出いただきたい。

委員：ティーンサービスの充実について、令和 6 年度の推し活ロゼッタづくりという企画がとても面白い取り組みだと思うが、これに本を絡めるとより図書館らしさが出て良いのではないか。

また、令和 5 年度に図書館コーナーの名前やキャラクターの募集があったが、こういった募集は面白く自身も応募をしたことがあり楽しめたので、また募集企画があると良いと思う。

事務局：キャラクターの募集などは気軽に応募いただける企画として実施した。現在中央図書館では、YA コーナーにホワイトボードを置いてテーマ別の意見投票のようなものを行っている。今後もまた名前の募集などの企画を実施していきたい。

会長：YA 世代は読書調査でも読書率の低い年代でもあるので、きっかけがあると読書の推進につながるのではないか。

委員：YA について、令和 6 年度実績に「YA 向けイベントの開催」とあり具体的な名前が載っていないが、巣鴨図書館で「ひと棚図書館」というものを行っていた。中学生が選んだ本を小さな本棚に並べるという企画で、参加者をホームページやチラシで募集をしていて、中学生が展示で参加できるというのがとても良かった。今後近隣の中学校に声をかけてコラボにしても良いのではないか。同じ企画を同時、または時

※ 審議経過の記載が 2 頁以上にわたる場合は、右肩に No. を付す。

期をずらして学校でも実施したり、中学校の図書委員の生徒に参加してもらい図書日より宣伝してもらったりと、近隣学校の生徒とつながりを持って実施すると同世代の子どもたちに注目してもらえ、学校図書館との連携にもつながっていくと思う。

事務局：巣鴨図書館と同じ時期に上池袋図書館でも「ひと箱図書館」という企画を実施しており、その時は近隣の学校とコラボレーションしていた。巣鴨図書館でも職場体験に来られた生徒や、学校司書の呼びかけにより近隣学校の生徒に多数参加いただいた。今後も引き続き学校と連携していきたい。

委員：参考資料にある「そよかぜ文庫」とはどのようなものか教えていただきたい。また、「館外のおはなし会の持続可能な開催数を模索する」と記載があるが、館外でのおはなし会を持続的に行うことが難しくなっているということか。

事務局：「そよかぜ文庫」は豊島区在住で、障害をお持ちの方や介護が必要な方など、図書館に来ることが難しい方を対象とした事業となっている。申し出いただいたら面談を行い、月に2回ご希望の図書や雑誌を郵送で貸出・返却を行っている。館外でのおはなし会の持続可能な実施数について、これまでサンシャインシティの絵本の森や西武百貨店の屋上といった民間事業者との連携によって実施してきた。現在西武百貨店が改修工事中で現在実施できない状況であることや、職員の負担等を鑑み持続可能な実施数を検討している。

会長：そよかぜ文庫は豊島区の地域包括センターと連携すれば、社会福祉の領域でもサービスが提供できて素晴らしい取り組みとなるのではないか。

【令和7年度豊島区立図書館事業計画について】

会長：続いて令和7年度事業計画について事務局より説明をお願いしたい。

事務局：資料5について説明

会長：次の議事で学校連携についてはご意見を伺うため、ここでは資料5の②から⑤についてご意見等をいただきたい。特に昨年度は図書館の改修・改築については重点的に協議いただいたので、このあたりについてもご意見があればお願いしたい。

委員：図書館DXの推進でタブレットの利用について、これは行政資料閲覧専用のもの

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

のなのか、行政資料以外の電子書籍や雑誌、契約データベースなども閲覧できるのかをお伺いしたい。また、運用について、タブレット席を用意してタブレットを固定した形で誰でも使えるようにするのか、カウンターで貸し出しをして利用が終わったら返却してもらうようにするのか、なにか決まっていることがあれば教えていただきたい。

事務局：行政資料のみならず他の資料や、セキュリティフィルターをかけたうえで Web にもアクセスできるようにする予定でいる。具体的な運用については未定だが、職員の目の届くカウンターの近くで利用することを考えている。

会長：タブレットは簡単に持ち出しができてしまうため、専修大学の図書館ではタブレットを席に固定してもっていけないようになっている。タブレットの運用については、盗難されないよう良い方法を検討していただきたい。

副会長：図書館の改修・改築にあたって、なるべく民間事業者をいれて新しい図書館を作っていただきたい。

読書バリアフリーについて、マルチメディアデージーが視覚障害のある方だけでなく、様々な障害をお持ちの方にも大きな効果を発揮している。しかし、単独の自治体の図書館だけでは推進は難しく、都立図書館や国立図書館との連携によってより検索機能やバリアフリーが強化されることが分かっている。このあたりについてのお考えを伺いたい。

ボランティアについて、主な層であるリタイア世代は今も働いている方が多くボランティアの人数が減ってきている。そのため、今後ボランティアを無償でお願いしていくのは持続可能ではないと感じている。有償ボランティアの導入などについてどうされているのかお伺いしたい。

事務局：新しい図書館に向けての民間活用について、新しい千早図書館は多様性・包摂性をコンセプトにインクルーシブな図書館を目指したいと考えている。文字活字だけに頼らない読書を楽しめる資料、例えばボードゲームやサイレントブック（文字を使わずに読める日本を含めた世界各国の本）などを検討している。ハード面とソフト面の両面でインクルーシブな図書館にしていくため、ご助言などいただきたい。

マルチメディアデージーの活用について、（中央図書館のみが視聴覚資料を収集する役割分担となっているため、中央図書館には所蔵している。地域館では収集はせず中央図書館からの取り寄せによる貸出はおこなっているが、中央図書館・地域図書館ともに）製作はおこなっていない。また、点字図書館も、点字、音声デージー、テキストデージーのみ自館製作しており、マルチメディアデージー図書の自館製作までは

※ 審議経過の記載が 2 頁以上にわたる場合は、右肩に No. を付す。

できていない。ぜひご助言等いただきたい。

副会長：マルチメディアデイジーの活用・連携は進めていかないといけない。図書館 DX の推進とあるがまさにこのことだと思う。ICT は日々進化しているので、活用しない手はない。公共施設が新しいものを取り入れていかないと、さらに図書館離れ、読書離れが進行してしまうのではないかと。図書館 DX についても単なるペーパーレス化ではなく、本格的に考えていく必要がある。

事務局：ボランティアについて、現在 73 名の読み聞かせボランティアがおり、年間 200 回ほど活動をしている。無償でのボランティアとなっている。また、ひかり文庫では音訳・点訳・拡大写本それぞれ、作成と校正を有償ボランティアで行っている。

委員：中央図書館では立派なりんごのたなコーナーがあり、LL ブックの理解促進の展示もあったように思うが、読書バリアフリーの資料として、手触りで楽しむ布でできた絵本などの活用はしているか。

事務局：現在出版されている点字付きさわる絵本や布絵本、LL ブックは積極的に購入しており、青年・成人向けの LL ブックや LL マンガは、一般書架の大活字本や朗読 CD、日本語多読本、希少言語の本等の近くに配架している。豊島区立図書館りんごのたなスポンサー制度要綱で豊島区立図書館におけるバリアフリー資料を定義しており、その中で、LL ブックや触る絵本、布の絵本、マルチメディアデイジー図書などを積極的に収集していくという方針になっている。

委員：とても積極的に取り組まれているので、さらに広めるような取り組みになると良いと思う。

【学校連携について】

会長：次に、学校連携について事務局より説明をお願いしたい。

事務局：資料 6 について説明

委員：学校図書館の学習センター、読書センター、情報センターとしての機能を十分活用する学校としての取り組みのベースがなければ、区立図書館との連携は難しいのではないかと。学習における学校図書館の活用が推進されていないのが現状。授業でどのように活用すると有効なのかを検証したが、教員も変わっていくので継続してい

※ 審議経過の記載が 2 頁以上にわたる場合は、右肩に No. を付す。

く難しさもある。日本の子どもたちの学力は世界トップレベルだが、自ら学んだり調べたりする意識は世界の先進国の中でも下位となっている。そのため、学校図書館を十分活用するよう、教員向けに推進するコーディネーターの存在が必要だと考えている。

会長：学校図書館を、本を読むためだけの場所と思っている方が管理職の先生方にも多いので、意識改革のための研修なども必要になってくる。

委員：学校司書が非常勤で十分に発揮できないとのことだが、学校の図書委員会の生徒に手伝ってもらうのも良いのではないか。実際に図書委員をやる生徒は本が好きな人が多かったの、なにかお手伝いができれば学校司書と生徒のどちらにも良いと思う。

吉田副会長：中学校は読書活動がほとんどなく、今後探求的な学習を進めた時に読書の力が問われる時代になってくる。そうなる日本は後れを取る可能性がある。そのため読書活動をもっと充実させる必要があり、学校においても大事なことだと思う。狛江市では全小中学校に司書が入っていてその担い手になっている。小学校と中学校では図書室活動の充実具合が違うが、それでも学校図書館司書がいることはとても重要。中学校においては教育課程に学校図書館の活用をどう取り入れるかということになってくる。会長が仰っていたように、管理職中心にそういった指導をしていかなければいけないと思う。同時に区立全小中学校にただちに学校図書館司書を常時配置することが必要。

また、先ほどお話があったように図書委員会との協力は大きなメリットがある。学校の自治活動としての委員会は様々な独自の活動ができる。その中で、学校の図書委員会も外に出て行って読み聞かせの活動や区立図書館との連携を進めていっていただきたい。

会長：豊島岡女子学園でも地域に出て活動を行っていると同った。とても大切な視点だと思う。

事務局：学校連携についてはまだ手探りの状態のため、委員のみなさまからご意見を伺いながら足元を固めているところである。図書委員の生徒に参加してもらうという発想はとても参考になった。様々な方法で学校との連携を行っていくことで、子どもたちが生き生きと地域に出て、自らの力で学習していけるようになってもらいたいと思っている。これからもお力添えをお願いしたい。

委員：以前学校司書として勤務していたことがあるが、学校司書は公共図書館を利用したくても手続きが煩雑なため、複数校兼務していると時間の余裕がなくハードルが高くなっている。そのため、本当は公共図書館を利用したくても、自校の資料だけで済ませてしまうことが多い。学校司書の常駐と利用しやすい環境づくりが必要。学校と公共図書館が密にコミュニケーションを取り、どのように連携していくのが良いかを話し合うことが大切だと思う。学校司書連絡会にコーディネーターが参加するのは良いと思う。それ以外にも学校とコーディネーターが意見交換できる場は必要だと考えている。例えばコーディネーターと各館の学校担当職員が各校を訪問して、学校司書と司書教諭との話し合いの場を設け、学校図書館活用年間予定のようなものを作って共有しておく、資料を充実させたりパスファインダーを作って置いたりといったことができるのではないかな。

図書委員の活用について、図書委員の生徒は読書活動の推進にとっても力になってくれると思っており、以前勤務していたところでは図書委員の生徒が読み聞かせの練習をして近所の保育園等で読み聞かせ会をしたり、夏休み等の期間に選書に同行してもらい本を選んでもらったりということもやっていた。図書委員との連携も様々な形で考えられるのではないかな。

【豊島区読書活動に関する実態調査について（報告）】

会長：続いて、豊島区の読書活動に関する実態調査について事務局より説明をお願いしたい。

事務局：資料 8 について説明

委員：アンケートは郵送での回答となるのか。

事務局：小学校は図書ネット便でクラスごとに分けたものを送付し、回答も図書ネット便での返送を想定している。

委員：可能であればタブレットを通してフォームでの回答をさせていただきたい。子どもたちは全員タブレットを使っており、保護者の方も手元のスマートフォンで回答できると良いのではないかな。集計の際にも便利だと思う。

事務局：フォームでの回答について検討する。

会長：高等学校についても授業でパソコンを活用しているので、校長や副校長を通して

※ 審議経過の記載が 2 頁以上にわたる場合は、右肩に No. を付す。

依頼すれば、ホームルーム等で一斉にアンケートをやってもらえることもできると思う。

委員：保護者向けのアンケートはどういった目的になるのか。

事務局：子どもの読書活動について保護者の視点からどのようにお考えかを伺うことと、保護者自身の読書活動についてもお尋ねしている。質問内容は経年変化を調べる内容にもなっているため、基本は経年と同じとしつつ現状に合わせた質問を追加している。

委員：経年変化をみるということなので変えることは難しいかもしれないが、調査対象が小中高生とその保護者なので乳幼児の保護者の意見が反映されないのではないかという懸念がある。また、調査Ⅱが無作為抽出された18歳以上の区民が対象となっているので、調査ⅠとⅡの両方に回答することになる方が出てきて負担となってしまうのではないか。

事務局：ご指摘の通り、本調査では乳幼児の保護者の意見がすくい取れない。この点については、計画策定の際に他のアンケート等も利用していく予定となっている。回答者が重複してしまうのではないか、ということについて、無作為抽出なのでⅠの対象となっている保護者にⅡの調査票が届いてしまう場合がある。それについては、Ⅰの調査票にご協力をお願いとして複数の調査への回答をお願いする可能性がある旨の一文を入れている。

会長：紙ベースで行う場合は、マークシートではなく調査票に直接記入するような形になるか。

事務局：調査票に直接丸をつけたり、自由記述欄に記載するという形になる。

会長：高等学校は紙の場合ほぼ保護者へ届かないと思うので、連絡システムを利用するなど方法は工夫していただくと良い。

会長：本日いただいたご意見を踏まえ、今後の区政に役立てていただきたい。

【その他】

会長：最後に事務局から連絡事項はあるか。

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

審 議 経 過

No. 9

事務局：事務連絡

会長：以上で令和7年度第1回豊島区図書館経営協議会を終了する。

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

会 議 の 結 果	・学校図書館コーディネーターの配置と、学校司書とのコミュニケーションの充実 ・各学校の図書委員会との連携を検討 ・読書活動実態調査の Web 回答を検討
提出された資料等	資料 1 …豊島区図書館経営協議会規則 資料 2 …豊島区図書館経営協議会委員名簿 資料 3 …基本構想 多様な役割を持つ新たな図書館の実現 資料 4 …令和 6 年度豊島区立図書館運営評価について 資料 5 …令和 7 年度豊島区立図書館事業計画（重点取組） 資料 6 …豊島区立図書館の学校連携について 資料 7 …学校図書館コーディネーターと学校司書の常備配置による読書と学習支援の充実のための活用デザイン 資料 8 …「豊島区読書活動に関する事態調査」について 参考資料 1 …令和 6 年度豊島区立図書館運営に係る評価基準 参考資料 2 …令和 6 年度豊島区立図書館運営の評価①〈総括〉 参考資料 3 …令和 6 年度豊島区立図書館運営の評価②〈豊島区立図書館基本計画（第二次）進捗状況〉 参考資料 4 …令和 6 年度豊島区立図書館運営の評価③〈利用者アンケートの実施結果〉 参考資料 5 …区立図書館 学校向けサービスのご案内 参考資料 6 …令和 6 年度豊島区立小中学校 図書館サービス実施報告 参考資料 7 …令和 7 年度学校司書一覧 参考資料 8 …区民読書活動調査 対象校選定 参考資料 9 …読書活動についてのアンケート（案）【小学生】 参考資料 10 …読書活動についてのアンケート（案）【中高生】 参考資料 11 …お子様の読書活動についての調査（案）【保護者】 参考資料 12 …読書と図書館サービスについての調査（案）【一般区民】 別冊…豊島区読書活動に関する実態調査報告書概要版（令和元年度実施） 別冊…豊島の図書館 令和 5 年度事業報告